



旭市立琴田小学校 保健室
学校保健委員会号
令和7年12月10日
☆おうちの人と読みましょう☆
※裏もあります

12月4日(木)に、学校保健委員会を開催しました。
学校歯科医の菅谷博先生、PTA役員の方や保護者の方に
ご出席いただきました。

今回は、旭中央病院から看護師さんを講師としてお招き
して、「命の大切さについて考えよう」というテーマで、
6年生児童を対象に授業をしていただきました。



看護師さんから児童のみなさんへ

看護師さんご自身の体験を交えながら、「1つしかない命だから大切にしてほしい」「近くにあなたを大切に思っている人がいる」「辛くなったらまず相談をしてほしい」など、たくさんのメッセージをいただきました。



命の音を聞いてみよう！

聴診器や血圧計を使って、「トクトン」という心臓の鼓動を体験しました



初めて聞く、自分や友達の心臓の音に、おどろきや感動の声が聞かれました。
一人一人が自分や周りの人の命の大切さや尊さについて、考える時間になったのではないかと思います。

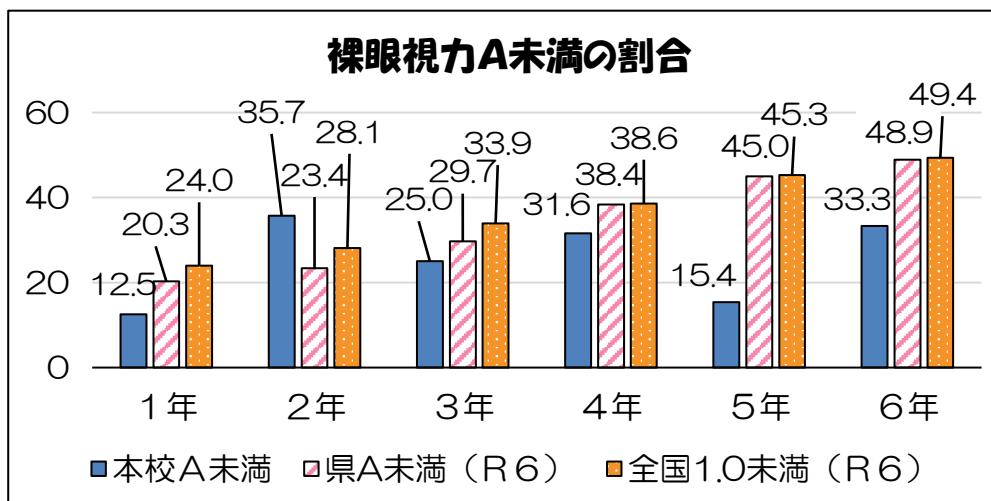
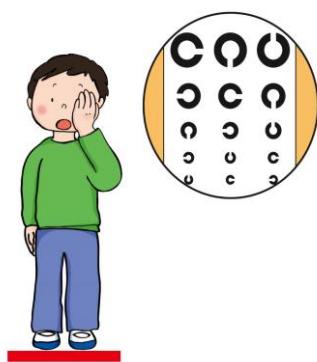
【自分の好きなところは？】

- 友達の良いところに気付けるところ
- 毎日が楽しいと思えるところ
- ゲームが得意なところ
もし、落ちこんでしまった時には、自分の良いところをぜひ思い出してほしいです。だれにでもすてきなところがあります。



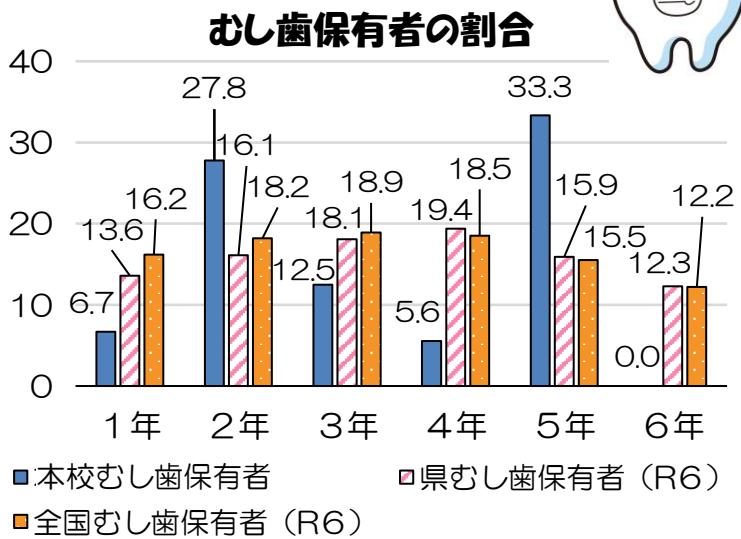
琴田っ子の健康について～健康診断の結果報告及び協議より一部抜粋～

【視力検査の結果】



- 裸眼視力A未満（視力B～D）の児童は4年生が6名、次いで2年生が5名となっている。
- 2年生以外は、裸眼視力A未満の児童の割合は、全国・県よりも少ないが、4～6年生では他の学年と比べ、メガネ等使用者の人数が多い。
- 視力測定を4月に実施し、視力B以下の児童に眼科受診の勧めを配付し、11月21日時点で、79%が眼科受診を終えている。（昨年度同時期で71%）

【歯科検診の結果】



- むし歯保有者は2・5年生が5名、次いで3年生が3名となっている。
- 所見として、歯肉の軽度炎症を指摘された児童が15名（前年度比+13名）と多い。
- 歯科検診後、所見の見られた児童には、歯科受診の勧めを配付した。
- 11月21日時点で79%が歯科受診を終えている。（昨年度同時期で64%）

眼科・歯科ともに昨年度同時期に比べて受診率が向上しております。保護者の皆様におかれましては、早期治療へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

【学校歯科医 菅谷 博 先生より琴田っ子の健康についてのご指導】

- ・歯が生え始めた時が一番むし歯になりやすい。この時期に、歯みがきをしっかりとすることが大切である。
- ・今年度の歯科検診の結果、歯肉の所見が多かった。第二次性徴によるホルモンバランスの変化で歯肉に炎症が起こる。歯ブラシで刺激を加えることで、歯肉が引き締まってくる。

歯や歯肉の健康のために日常の歯みがきが大切であることを繰り返し仰っていました。
学校では給食後の歯みがき指導を行っていますが、ご家庭でも朝夜や、休日の歯みがきの習慣化に向けて、引き続き、ご配慮いただけますよう、お願ひいたします。